

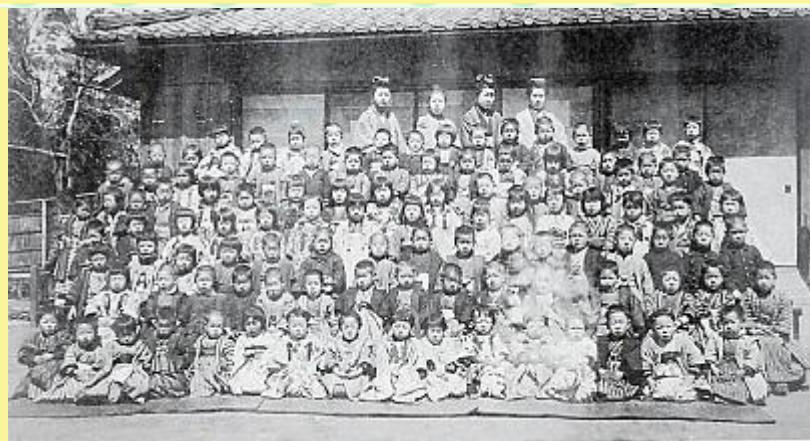
# 第一幼稚園の歴史



明治25年、名古屋市中区久屋町に名古屋幼稚園として創立開園



創立時代の在園児



明治29年修了生創立時代の園舎前にて

明治34年、東区の現在地に移転。

市立名古屋高等女学校附属幼稚園



明治34年から昭和30年



明治38年修了生



明治43年ごろ 本県初めての公設幼稚園

大正2年、独立して名古屋市立第一幼稚園



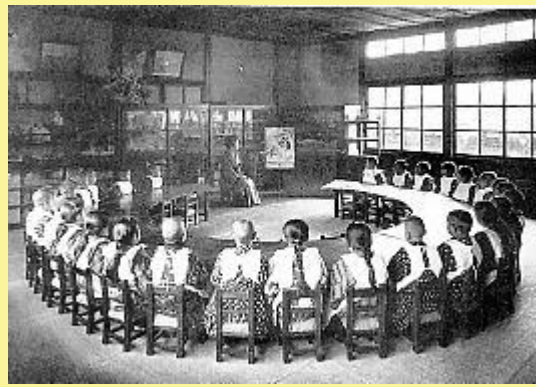
戸外自由遊び（大正4

年)

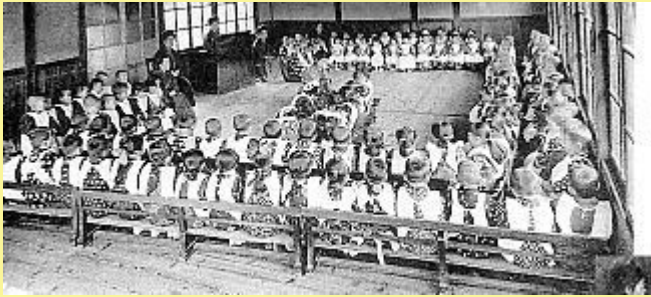




▲ 共同積木 (大正6年)



▲ 談話 (大正6年)



▲ 誕生会 (大正8年)



▲ 遊戯・月夜のうさぎ (大正1

0年)



▲ 園長室 (大正6年)



▲ 修了幼児母の会 (大正6

年)



職員室 (大正6年)



大正七年

保育の概況  
(学事年報より抜粋)

幼稚園の任務は、家庭に於ける純自然生活を出发点として幼児のために適當なる方法によりて材料を供し、補助誘導を与え、その個性と天賦の才能を観察し、創作力を進め自発的にして本真剣なる生活をなさしむるに勉むべき、その精神訓育の如きも個別的取扱によりて、漸次良習慣を得しむべきなれば、その成功を期せんには、幼児をして保育に對するに幼稚園の母なる親愛さを似て、如き安心と暢氣にて無邪氣に快適に充分自己の意志を發表し、少しも暗き影なく天真爛漫たる溫和なる氣分を以って生活なさしむべきものと思はる。

一、家庭的氣分をもたす為に

- (1) 各組に子供部屋として一室を与え、一族と見なし室内の裝飾机の配置、玩具の整頓等その室の保育と幼児の任意とし玩具器物等一切を備へ自由に使用せしむ。
- (2) 毎朝の会集を廢し各自室にて挨拶し合うこと。
- (3) 毎週一回全園児一室に合し談話遊戯等を行なす。
- (4) 毎月一回誕生会を開き、誕生月に當りたる幼児に祝詞を陳べ、他幼児の製作せる品を贈り、又各組より余興を一つずつもち出し終日面づく遊ぶこと。

二、個別的取扱方法

訓育の標的は無邪氣にして正直、上品にて落付ある子供に育つるを勉む、自治心、同情、勇氣、整頓、清潔その他の諸徳は實際生活の上に又作業遊戯等の間に隨時養成することとす。

三、新に設けたる

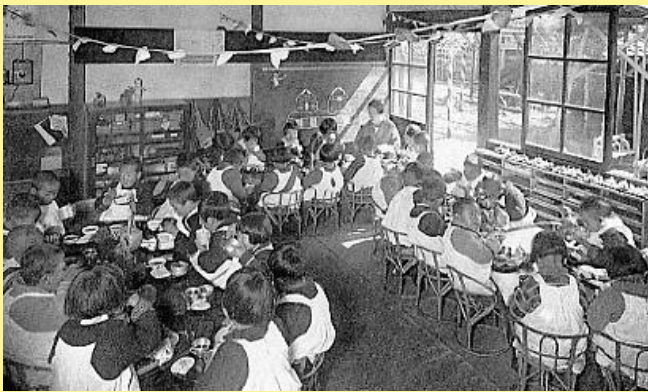
又回数多くしたる  
保育手段  
農藝遊び 木工  
粘土系作 染色



▲ひなまつり (昭和2年)



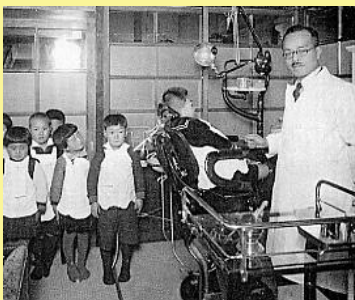
▲お絵かき (昭和6年)



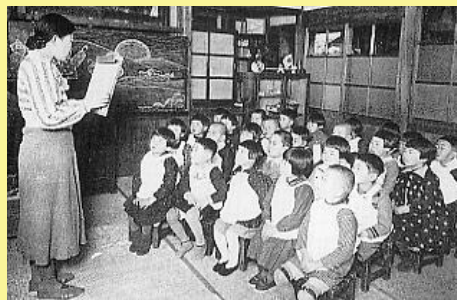
▲弁当の風景 (昭和6年)



▲先生のピアノに合わせて (昭和7年)



▲乳歯の検査 (昭和10年)



▲紙芝居 (昭和13年)





▲登降園の様子（昭和12年）

## 第一幼稚園 園歌

作詞 葛原 しげる  
作曲 弘田 竜太郎

おど ひん さく まり きく らり きく らり たか かわ いい そい らな  
おど ひん さく まり きく らり きく らり たか かわ いい そい らな

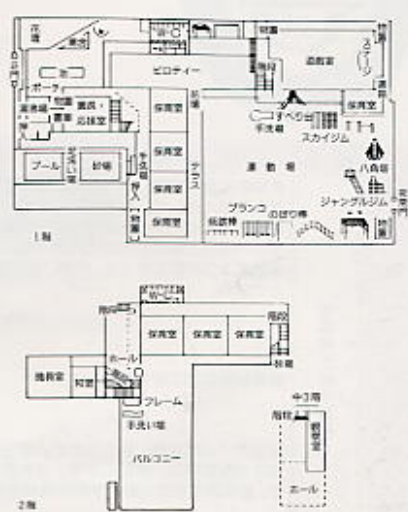
こは とち りき もれ ほそ なう もに よお ろそ ろろ こんで  
こは とち りき もれ ほそ なう もに よお ろそ ろろ こんで

うた うよ さく くれ よみ あと げつて はて  
うた うよ さく くれ よみ あと げつて はて

みんなもみあと げつて つよいいここよいいここ  
みんなもみあと げつて つよいいここよいいここ

なごやだいいちようちえん  
なごやだいいちようちえん

※昭和17年 創立50周年を記念して園歌が作られた。



▲ 昭和31年から平成元年の園舎



▲ 園庭風景 (昭和34年)



▲ たごあげ (昭和50年)

平成2年に新園舎が竣工





## 平成4年創立100周年



記念式典

## 平成14年創立110周年



創立110周年記念式



遊戯室にて 幼稚園の110さいの誕生会をしました。

先生と園児とで一緒に作った直径2m高さ2mのケーキに電気が点灯すると、

「おめでとう」といっばい拍手がおこりました。園児と保護者でお祝いをしました。



保育室では、園児がくす玉を引っぱってお祝いをしました。中から園児たちが作った折り紙やたれ幕が出てきたときには、大きな歓声が聞かれました。

## 平成24年創立120周年



除幕式 3月 磯田 皓 先生からの絵のプレゼント



子どもたちからのお祝いメッセージ





120周年記念運動会（10月）



120周年記念式典（11月）